



平成25年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年10月12日

上場会社名 株式会社 プレナス 上場取引所 東  
 コード番号 9945 URL http://www.plenus.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 塩井 辰男  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理室長 (氏名) 丸山 俊也 (TEL) 092(452)3678  
 四半期報告書提出予定日 平成24年10月12日 配当支払開始予定日 平成24年10月30日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有(アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年2月期第2四半期の連結業績(平成24年3月1日～平成24年8月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年2月期第2四半期	69,420	13.5	2,750	2.9	2,991	2.3	1,623	192.3
24年2月期第2四半期	61,137	0.0	2,673	14.3	2,924	15.7	555	△38.4

(注) 包括利益 25年2月期第2四半期 1,614百万円(194.2%) 24年2月期第2四半期 548百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
25年2月期第2四半期	42	48	42	43
24年2月期第2四半期	14	53	14	52

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年2月期第2四半期	79,254		56,894			71.6
24年2月期	78,505		56,185			71.4

(参考) 自己資本 25年2月期第2四半期 56,748百万円 24年2月期 56,088百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
24年2月期	—	25 00	—	25 00	50 00	
25年2月期	—	25 00				
25年2月期(予想)			—	25 00	50 00	

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年2月期の連結業績予想(平成24年3月1日～平成25年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	144,800	14.0	7,800	24.3	8,000	19.5	4,100	109.1	107	30

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付書類P.5「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

25年2月期2Q	44,392,680株	24年2月期	44,392,680株
25年2月期2Q	6,182,480株	24年2月期	6,182,480株
25年2月期2Q	38,210,200株	24年2月期2Q	38,210,200株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算補足説明資料の入手方法について)

四半期決算補足説明資料につきましては、平成24年10月16日(火)に当社ホームページで掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	P. 5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 5
(4) 追加情報	P. 5
3. 四半期連結財務諸表	P. 6
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 8
四半期連結損益計算書	P. 8
四半期連結包括利益計算書	P. 9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 10
(4) 継続企業の前提に関する注記	P. 12
(5) セグメント情報等	P. 12
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 13

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要等もあり緩やかに回復しつつあるものの、欧州債務危機を背景として海外景気に減速感が広まる等、先行き不透明な状況が続きました。

当外食産業におきましては、昨年3月の震災の影響の反動等もあり、個人消費が緩やかに増加したものの、企業間の競争激化や、家計の負担増等に対する先行き不安感などから、厳しい事業環境が続いております。

このような状況の中、当社グループにおきましては、さらに幅広い層のお客様にご支持いただけるよう商品力の強化を図ると共に、引き続き店舗のQSC(品質、接客、清潔感)向上、及び効果的なキャンペーンの展開に努めました。

国内における店舗展開につきましては、出店余地が大きい近畿・東海エリアを中心に新規出店を94店舗、退店を19店舗行い、店舗数は2,857店舗となりました。また、改装・移転につきましては、56店舗実施いたしました。海外における事業展開につきましては、6月に大韓民国において、「H o t t o M o t t o (ほっともっと)」を初出店いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、694億20百万円(前年同期比13.5%増)、営業利益は27億50百万円(前年同期比2.9%増)、経常利益は29億91百万円(前年同期比2.3%増)、四半期純利益は16億23百万円(前年同期比192.3%増)となりました。売上高につきましては、既存店売上高が継続して前年同月を上回ったことに加えて、新規出店により店舗数が増加したため、前年同期実績を上回りました。営業利益、経常利益につきましては、仕入れコストの増加等があったものの、売上高の増加により前年同期実績を上回りました。なお、四半期純利益につきましては、前年同期に資産除去債務に関する会計基準の適用に伴う特別損失を計上したこともあり、大幅な増加となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントを「ほっともっと事業」、「やよい軒事業」及び「しゃぶしゃぶダイニングMK事業」へと変更いたしました。(詳細は、13頁「2. 報告セグメントの変更等に関する事項」をご覧ください。)

以上により、各セグメントの業績の前年同期比較は、前年同期実績を変更後の報告セグメントに組替えたうえで計算しています。

### 【ほっともっと事業】

「幕の内弁当」をさらに幅広い層のお客様にご利用いただくことを目指し、「幕の内弁当炊き込みごはん無料変更サービス」を実施すると共に、女性やヘルシー志向のお客様のニーズに対応した「花・幕の内弁当」を発売いたしました。さらに、一部商品の価格の見直しや、「塩から揚弁当」を改めてお客様に訴求することを目的としたキャンペーンを実施する等、定番商品の売上向上に努めました。加えて、季節感あるメニューも適宜発売し、幅広いお客様のニーズに対応いたしました。これらのことにより、既存店売上高は、前年同期比104.7%となりました。

店舗展開につきましては、出店余地が大きい近畿・東海エリアを中心に、新規出店を75店舗行うと共に、不採算店舗等の退店を16店舗行った結果、店舗数は59店舗増加し、2,625店舗となりました。改装・移転につきましては、52店舗実施いたしました。

また、今後の出店戦略とフランチャイズ展開の推進を図るため、加盟者の開業資金の負担やリスクを抑えた新たなフランチャイズ制度(「ユニットFC制度」)を設立いたしました。

以上の結果、売上高は、579億81百万円(前年同期比12.8%増)、営業利益は24億70百万円(前年同期比6.7%増)となりました。

### 【やよい軒事業】

食材や商品のボリュームにこだわったメニューを提供すると共に、季節感を取り入れたメニューを発売し、お客様の満足度を高めることにより、他店との差別化を図りました。また、テレビCMを放映し「やよい軒」の認知度を高めて新規顧客の獲得を図ると共に、キャンペーンを効果的に実施し、お客様の来店促進を図りました。これらのことにより、既存店売上高は、前年同期比103.0%となりました。

店舗数につきましては、新規出店を16店舗行う一方、退店を1店舗行った結果、店舗数は15店舗増加し、205店舗となりました。なお、改装を4店舗実施いたしました。

以上の結果、売上高は99億45百万円(前年同期比16.5%増)となりましたが、営業利益は仕入れコストの増加等により3億34百万円(前年同期比20.8%減)となりました。

### 【しゃぶしゃぶダイニングMK事業】

季節に合わせたメニューを発売し、メニューの幅を広げると共に、カード会員向けに販売促進活動を行う等、既存顧客の来店促進を図りました。また、テレビCMを放映し、認知度を高めて新規顧客の獲得を図ると共に、店舗のQSCのさらなる向上に努めた結果、既存店売上高は、前年同期比103.1%となりました。

店舗数につきましては、新規出店を3店舗行い、27店舗となりました。

以上の結果、売上高は14億91百万円(前年同期比32.3%増)、営業利益は33百万円(前年同期は19百万円の営業損失)となりました。

### 【その他】

報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲食に関する事業がありましたが、該当店舗が3月31日に全て退店したため、売上高は2百万円、営業損失は2百万円となりました。

なお、前第2四半期連結累計期間の実績は、売上高は54百万円、営業利益は14百万円でした。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ7億49百万円増加し、792億54百万円となりました。内訳は、流動資産が10億91百万円減少したこと及び固定資産が18億40百万円増加したこととあります。流動資産の減少は、現金及び預金が14億94百万円減少したこと、商品及び製品が3億67百万円増加したことなどによるものです。また、固定資産の増加は、主に、有形固定資産が15億55百万円増加したこと及び差入保証金が2億17百万円増加したことなどによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ39百万円増加し、223億59百万円となりました。内訳は、流動負債が1億24百万円減少したこと及び固定負債が1億63百万円増加したこととあります。流動負債の減少は、支払手形及び買掛金が8億1百万円増加したこと、未払金が4億54百万円減少したこと、預り金が4億65百万円減少したことなどによるものです。また、固定負債の増加は、資産除去債務が1億83百万円増加したことなどによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ7億9百万円増加し、568億94百万円となりました。これは、利益剰余金が四半期純利益により16億23百万円増加し、剰余金の配当により9億55百万円減少したことなどによるものです。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ5億5百万円増加し、103億11百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、前第2四半期連結累計期間に比べ2億80百万円増加し、35億52百万円となりました。主な内訳は、税金等調整前四半期純利益28億84百万円、減価償却費20億94百万円、たな卸資産の増加額4億2百万円、仕入債務の増加額8億1百万円、法人税等の支払額15億40百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、前第2四半期連結累計期間に比べ99百万円減少し、20億84百万円となりました。主な内訳は、定期預金の預入による支出80億円及び定期預金の払戻による収入100億円、有形固定資産の取得による支出37億27百万円、差入保証金の差入による支出3億16百万円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、前第2四半期連結累計期間に比べ37百万円減少し、9億62百万円となりました。主な内訳は、配当金の支払いによる支出9億54百万円であります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年2月期の通期の業績予想につきましては、平成24年4月13日に公表いたしました予想に変更ありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

### (4) 追加情報

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	22,805	21,311
受取手形及び売掛金	3,058	3,096
商品及び製品	4,839	5,206
原材料及び貯蔵品	91	126
その他	2,781	2,662
貸倒引当金	△500	△419
流動資産合計	33,074	31,983
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	21,801	22,819
その他(純額)	9,353	9,890
有形固定資産合計	31,155	32,710
無形固定資産	494	474
投資その他の資産		
その他	13,800	14,104
貸倒引当金	△19	△18
投資その他の資産合計	13,781	14,086
固定資産合計	45,431	47,271
資産合計	78,505	79,254
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,019	5,820
未払法人税等	1,611	1,338
賞与引当金	284	416
ポイント引当金	82	90
株主優待引当金	120	40
資産除去債務	8	—
その他	7,176	6,471
流動負債合計	14,303	14,178
固定負債		
資産除去債務	3,550	3,734
その他	4,466	4,446
固定負債合計	8,017	8,181
負債合計	22,320	22,359



	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,461	3,461
資本剰余金	4,922	4,922
利益剰余金	59,771	60,439
自己株式	△12,050	△12,050
株主資本合計	56,104	56,772
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△16	△24
その他の包括利益累計額合計	△16	△24
新株予約権	96	146
純資産合計	56,185	56,894
負債純資産合計	78,505	79,254

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)
売上高	61,137	69,420
売上原価	29,131	33,028
売上総利益	32,005	36,391
販売費及び一般管理費	29,331	33,640
営業利益	2,673	2,750
営業外収益		
受取利息	37	35
受取配当金	1	1
固定資産賃貸料	73	73
持分法による投資利益	3	3
その他	190	164
営業外収益合計	305	278
営業外費用		
固定資産賃貸費用	21	18
その他	34	18
営業外費用合計	55	37
経常利益	2,924	2,991
特別利益		
固定資産売却益	7	1
貸倒引当金戻入額	1	—
災害見舞金受取額	200	—
特別利益合計	209	1
特別損失		
固定資産処分損	55	85
減損損失	—	1
災害義援金等	123	20
災害による損失	213	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,643	—
その他	1	1
特別損失合計	2,037	107
税金等調整前四半期純利益	1,096	2,884
法人税等	541	1,261
少数株主損益調整前四半期純利益	555	1,623
四半期純利益	555	1,623

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	555	1,623
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6	△8
その他の包括利益合計	△6	△8
四半期包括利益	548	1,614
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	548	1,614
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,096	2,884
減価償却費	1,907	2,094
減損損失	—	1
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,643	—
株式報酬費用	48	50
持分法による投資損益(△は益)	△3	△3
有形及び無形固定資産除却損	54	85
貸倒引当金の増減額(△は減少)	95	△82
賞与引当金の増減額(△は減少)	152	132
退職給付引当金の増減額(△は減少)	1	—
ポイント引当金の増減額(△は減少)	15	7
株主優待引当金の増減額(△は減少)	24	△79
受取利息及び受取配当金	△38	△37
有形及び無形固定資産売却損益(△は益)	△7	△0
災害見舞金受取額	△200	—
災害義援金等	123	20
災害損失	213	—
売上債権の増減額(△は増加)	△316	△38
たな卸資産の増減額(△は増加)	△840	△402
仕入債務の増減額(△は減少)	1,089	801
その他	△657	△328
小計	4,402	5,105
利息及び配当金の受取額	49	42
災害見舞金の受取額	200	—
災害義援金等の支払額	△90	△54
災害損失の支払額	△205	—
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△1,085	△1,540
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,271	3,552

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年8月31日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△10,000	△8,000
定期預金の払戻による収入	10,000	10,000
有形固定資産の取得による支出	△2,010	△3,727
有形固定資産の除却による支出	△45	△23
有形固定資産の売却による収入	81	72
無形固定資産の取得による支出	△96	△64
貸付けによる支出	△109	△216
貸付金の回収による収入	171	141
差入保証金の差入による支出	△186	△316
差入保証金の回収による収入	193	99
関係会社出資金の払込による支出	△175	—
その他	△5	△49
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,183	△2,084
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△992	△954
その他	△7	△7
財務活動によるキャッシュ・フロー	△999	△962
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	88	505
現金及び現金同等物の期首残高	7,649	9,805
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,737	10,311

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

## I 前第2四半期連結累計期間(自 平成23年3月1日 至 平成23年8月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	ほっとも っと事業	やよい軒 事業	しゃぶし やぶダイ ニングM K事業	計				
売上高								
(1) 外部顧客に 対する売上高 (その他営業収入 を含む)	51,417	8,537	1,127	61,082	54	61,137	—	61,137
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	0	0	—	0	△0	—
計	51,417	8,537	1,127	61,082	54	61,137	△0	61,137
セグメント利益又は損失 (△)	2,316	421	△19	2,718	14	2,733	△59	2,673

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲食に関する事業であります。  
 2 セグメント利益又は損失の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。  
 3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自 平成24年3月1日 至 平成24年8月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	ほっとも っと事業	やよい軒 事業	しゃぶし やぶダイ ニングM K事業	計				
売上高								
(1) 外部顧客に 対する売上高 (その他営業収入 を含む)	57,981	9,945	1,491	69,417	2	69,420	—	69,420
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	57,981	9,945	1,491	69,417	2	69,420	—	69,420
セグメント利益又は損失 (△)	2,470	334	33	2,838	△2	2,836	△85	2,750

- (注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲食に関する事業であります。  
 2 セグメント利益又は損失の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。  
 3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当連結会計年度の第1四半期連結会計期間より、従来の商品の提供スタイルや内容等で区分していた報告セグメントを、セグメント情報の利用者にとって明瞭で有用な情報開示を目的に、「ほっともっと」・「やよい軒」・「しゃぶしゃぶダイニングMK」の3ブランドによる事業展開に合わせて「ほっともっと事業」、「やよい軒事業」及び「しゃぶしゃぶダイニングMK事業」へと変更いたしました。この結果、「持ち帰り弁当事業」を「ほっともっと事業」に、「定食事業」を「やよい軒事業」に、「その他」から「しゃぶしゃぶダイニングMK事業」に係るものを区分掲記するように変更いたしました。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第2四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

### (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。